



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：リベラル・世俗系政治勢力による政治ブロック形成の動き (報道取り纏め)

最近、次期人民議会選挙に向け、リベラル・世俗派勢力による政党や政治ブロック形成の動きが顕著である。今後、さらなる離合集散が行われることが見込まれるが、現時点での動向を取り纏めると、概要は以下の通り。

1. 新しく結成された主なリベラル系政党

- (1) 憲法党；エルバラダイ元大統領候補〔前 IAEA (国際原子力機関) 事務総長〕を党首として、青年革命家を中心に「憲法党」が結成され、9月16日に政党委員会により承認された。
- (2) エジプト会議党；9月17日、アムル・ムーサー元大統領候補を党首として、25の政党（自由エジプト人党、革命ガド党、民主戦線党、社会主義アラブ・エジプト党、アラブ・エジプト統一党など）が合併統合し、「エジプト統合党」が結成された（注：政党委員会への申請の有無は不明）。
- (3) エジプト国民運動党；シャフィーク元首相およびムハンマド・アブー・ハーミド元人民議会議員らを共同発起人として「エジプト国民運動党」が結成され、9月17日に設立文書が発表された（注：政党委員会への申請の有無は不明）。
- (4) ナセル主義党；ナセリスト党、カラーマ党、国民調和党、ナセリスト人民会議党が合併統合し、新党「ナセル主義党」が設立され、9月20日、4党が設立文書に署名した（注：政党委員会への申請の有無は不明）。
- (5) 国民代表連合；旧国民民主党 (NDP) 系の元議員 77 名により、「国民代表連合」が結成された（注：政党委員会への申請の有無は不明）。

2. 新しく結成された主なリベラル系政治ブロック

- (1) エルウンマ・エルミスリーヤ (Egyptian Nation)；9月20日、エジプト会議党およびワフド党を含む 10 政党、各種職能組合および有識者により政治連盟「エルウンマ・エルミスリーヤ」の設立文書に署名がなされた。次回選挙の選挙法が発出されるまで選挙

に向けた調整は行わず、当面は政治ブロックとしてのみ活動することで合意されている。

- (2) **エジプト人民潮流**；9月21日、ハムディーン・サッターヒー元大統領候補は、政治連盟「エジプト人民潮流」の結成式を行った。式典には、サミール・モルコス大統領補佐官、青年革命家で憲法党メンバーのアフマド・ハラール、著名ジャーナリストのハムディ・カンディールなどが参加した。
- (3) **エジプト国民戦線**；現在、エルバラダイの「憲法党」とサッターヒーの「人民潮流」が連携する「エジプト国民戦線」なる政治連盟の結成が模索されている。
- (4) **革命民主主義連合**；9月19日、タガンマア党、社会主義人民連合党など左派10政党が参加する「革命民主主義連合」への合意がなされ、設立に向けた準備が進行している。